



幸福度世界一の ブータン王国 9日間

クジエ・チュチュと4都

パロ・ティンブー・プナカ・ブムタン

旅行期間

2016年6月12日(日)~6月20日(月)

398,000円

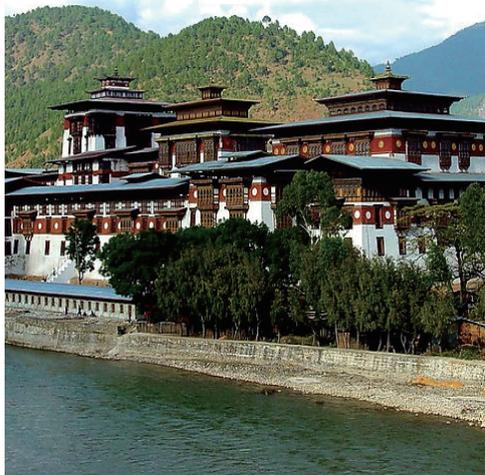
仙台空港発着

上記料金は大人お1人様2名1室ご利用の場合の旅行代金

成田空港発着の場合はー10,000円となります

タクツァン寺院 (イメージ)

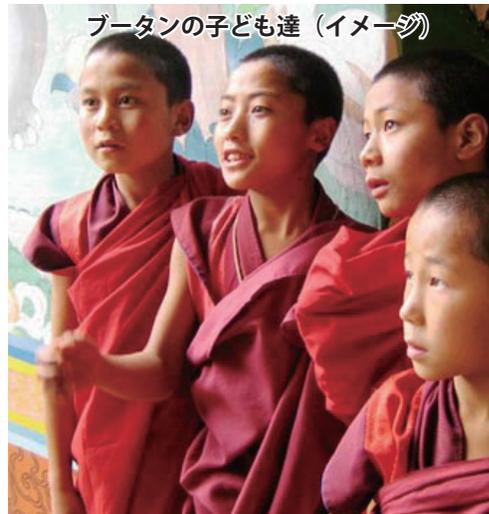
プナガゾン (イメージ)



ティンブーチュチュ (イメージ)



ブータンの子ども達 (イメージ)



● 旅行企画・実施



観光庁長官登録旅行業第1546号
国際航空運送協会(IATA)公認代理店 日本旅行業協会(JATA)正会員

株式会社 ワールドトラベル

〒984-0015 仙台市若林区卸町4-3-1

総合旅行業務取扱管理者: 加藤 重雄

TEL: 022-232-8051 FAX: 022-232-8085

www.world-travel.co.jp

旅行条件

最少催行人数	10名様
食事	朝6回・昼6回・夕8回
利用航空会社	全日空又はタイ航空(エコノミークラス)
利用予定ホテル	ブータン政府観光庁認定のスタンダードホテル 又は同等クラスホテルを利用
添乗員	仙台空港より、添乗員が全行程同行いたします。
1人部屋追加代金: 70,000 (7泊)	
※上記代金に加え、空港使用税、空港保安サービス料、ブータンビザ代金、燃油サーチャージを別途請求させていただきます。	

幸福度世界一のブータン王国9日間

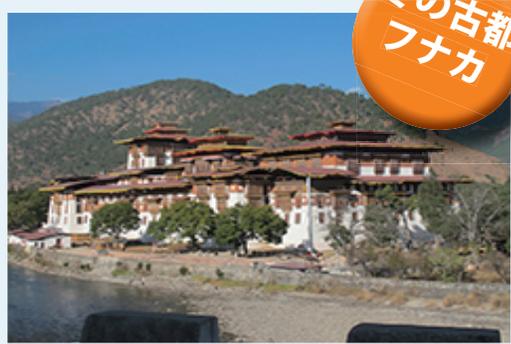


ツアーポイント

目次	日程	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事		
						朝	昼	夕
1	6/12日	仙台 バンコク	午前 午後	国内線 国際線 専用車	国内線にて空路成田空港へ着後、出国手続きして乗継いで国際線にて、バンコクへ着後、ホテルへ 【バンコク泊】	---	機内	○
2	6/13月	バンコク パロ ティンブー プナカ	朝 午前 午後	国際線 専用車	ブータン王国空の玄関口、パロ空港へ到着後、ティンブーへ移動 ブータンキッチンにてブータン伝統料理を召し上りください 昼食後、ヒマラヤの展望スポット「ドチュ・ラ」（標高3150m）を越え、かつて冬の首都「プナカ」へ 【プナカ泊】	○	○	○
3	6/14火	プナカ ブムタン	午前 午後	専用車	ホテルにて朝食後、ブムタンへウォンティ、トンサと2箇所の峠を越えて約8時間のドライブ トンサゾンはブータンでは最も美しいゾーンです。ブムタンはブータンにおいては広い谷で、そば畑や麦畑が広がっています。 ホテル到着後、夕食 【ブムタン泊】	ホテル	○	○
4	6/15水	ブムタン	終日	専用車	ホテルにて朝食後、ウラへ移動。 チェチュ（お祭り）を見学。 【ブムタン泊】	ホテル	○	○
5	6/16木	ブムタン プナカ	午前 夕方	専用車	ホテルにて朝食後、トンサへ出発。 途中、ブムタンの織物店に立ち寄ります。 トンサゾンを見学。 昼食後、プナカへ出発。 【プナカ泊】	ホテル	○	○
6	6/17金	プナカ ティンブー	午前 午後	専用車	朝食後、ティンブーへ移動。 市内観光。 ◎中央郵便局、ジルカ尼僧院、デテン・ポタン国立僧院学校 【ティンブー泊】	ホテル	○	○
7	6/18土	ティンブー パロ	午前 午後	専用車	ホテルにて朝食後、パロへ。 パロ到着後、昼食。 パロゾン、国立博物館の見学 【パロ泊】	ホテル	○	○
8	6/19日	パロ バンコク バンコク	午前 午後 深夜	国際線 国際線	ホテルにて朝食後、空港へ国際線にて、空路バンコクへ到着後、乗り換えまでゆっくり休憩してください 空路、帰国の途へ 【機内泊】	ホテル	機内	機内
9	6/20月	成田 成田 仙台	朝 午前	国内線	着後、入国手続き その後、国内線にて空路、仙台へ着後、解散となります ～お疲れ様でした～	機内	---	---

- 「国民幸福度」世界一の国への旅
- 田園風景が広がる、かつての冬の首都プナカへ訪問
- おいしい！日本では味わえないブータン料理
- 民族衣装のキラヤゴでも見られる色彩、模様織物、工芸品鑑賞

冬の古都
プナカ



ブータンといえばお祭り！
首都ティンブーよりも東に位置し、かつ標高も低いため、冬は温暖で1955年までは「冬の首都」として冬の間だけ、寒冷なティンブーに代わって首都の機能を果たしていた。

チェチュ
祭り



ブータンといえばお祭り！
ブータン（チベット）仏教は、ブータン人にとって生活全般の規範となっている。その開祖パドマ・サンヴァバを称えるお祭りが「チェチュ」。チェチュは、悪霊や鬼神を調伏するストーリーや仏教説話を表現した仮面舞踏（チャム）が奉納されます。僧たちが極彩色の衣装に奇抜な仮面を付けて踊る、古式ゆかしい舞と音楽は、能か歌舞伎の源流を思わせる緊張感に漲って、天と地の融和、ヒマラヤに生きる人々の豊かな心を圧倒的な迫力で訴える。丘の上に集まって来る無数の敬虔な民衆の姿も圧巻。

※上記スケジュールは現地交通事情などにより、一部変更が生じる場合があります